

2014 年 11 月 26 日

ニース観光 ミッション来日、インタビューや セールスコールで滞在型旅行をアピール

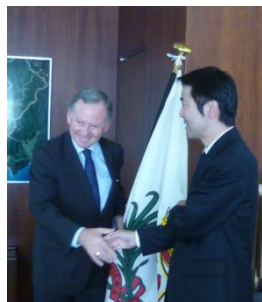
このほど南仏ニースよりルディ・サル観光・国際関係担当副市长（国民議会議員）、ドゥニ・ザノン観光会議局局長と 4 人のホテル業者から成るミッションが来日。日本の旅行会社へのセールスコール、インタビュー、ディナーパーティ、並びに姉妹都市鎌倉訪問を実施してPRに努めた。

大手日刊紙、旅行業界紙ら複数のメディアによるインタビューに応じたサル副市长、ザノン観光会議局長は、ニースの立地の良さや周辺観光への利便性、ホテル・市内交通網などの観光インフラの充実をアピール。年間に大小1500のイベントがあるうえに、地中海に面した都市でありながら内陸の山岳部へも車で1時間少々で行くことができ、美術館もグルメもそろった多様な観光素材が強みであるとした。現在のところ、日本人観光客はフランス各地周遊型ツアーの中でニースに1～2泊するケースが多いが、「今後はニースを拠点に周辺をじっくり巡るような滞在型を勧めたい」と意欲を見せた。

また旅行業界、メディア関係者らを集めたディナーパーティーでは、ニースにミシュラン一つ星レストランを持つ松嶋啓介シェフの料理がふるまわれ、映像上映もまじえてニースの魅力が余すところなく紹介された。昨年フランス観光開発機構のプロジェクトでニースロケを敢行した人気プロガーのまつゆう*さん、ニースで修業し、ニース名物ソッカのレストランを東京にオープンした笹川絵巳子さんなど同市にゆかりの方々も招待され、パーティーに花を添えた。

ニースは風光明媚な観光都市であると同時に、安全と持続可能な発展を目指すハイテク都市でもある。ルディ・サル副市长とドゥニ・ザノン観光会議局長は、今回の来日を機に有明のパナソニックセンターを視察。現在ニース国際空港正面に開発中の「エコ・ヴァレー」プロジェクトに関連してスマートシティ（先端技術を駆使した省エネ型都市）、スマートハウスのテクノロジーを見学した。

今回の来日では、ニースの姉妹都市鎌倉も日程に盛り込まれた。日仏間の数多い姉妹都市提携の中でもニース・鎌倉は特に長い歴史を持ち、2016年には50周年を迎える。鎌倉市役所で行われたミーティングには松尾崇市長をはじめ、鎌倉市観光協会、鎌倉商工会議所の代表者等が出席し、青少年層に互いの町への理解を深めるプロジェクトの推進など、今後50周年へ向けての具体的な姉妹都市交流案が話し合われた。



写真上：ニース観光ミッションディナー 左から
-ジャック・スッサン氏（ホテル・マセナ）
-ドゥニ・ザノン氏（ニース観光会議局局長）
-ミルナ・クライ氏（ホテル・エリントン）
-笹川絵巳子氏（ソッカレストラン Sasaco）
-ミッシェル・チャン氏（ホテルスプランディッド&スパ）
-ルディ・サル氏（ニース市観光・国際関係担当副市长）
-ティエリー・ダナ駐日フランス大使
-松嶋啓介氏（ニース&東京 レストラン Keisuke Matsushima）
-まつゆう*氏（プロガー）
-ロール・ジオメッティ氏（ホテル・ラ・ペルーズ）
-リュック・ドゥラプラス氏（エールフランス航空日本支社長）
-フレデリック・メイエル（フランス観光開発機構在日代表）

写真左下：同ディナーで供された松嶋啓介シェフの料理

写真右下：姉妹都市鎌倉を表敬訪問、松尾崇市長に迎えられるルディ・サル ニース副市长（国民議会議員）